

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月27日		記入者		連絡先 3815
部 名	消防本部	課 名	消防総務課	課長名	門倉 豊
事務事業名	消防庁舎維持補修事業				
予算上の事務事業名	消防庁舎維持補修費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	23130	
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施策名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防法、消防組織法、市有財産事務取扱規程				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)
災害から市民の生命、身体、財産を保護するため、消防活動の拠点となる消防署所の施設及び設備の不具合箇所を修繕し、災害に対応する。また、消防職員の職場環境向上のため仮眠室を個室化する。					市民全般・消防職員
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
施設の機能を保持するための修繕等を行った。 ○庁舎等維持修繕 (不特定分) 10,560千円 ○南消防署に区分開閉器を設置 760千円 ○上溝分署の仮眠室を個室化 20,578千円 ○消防本部地下倉庫アスベスト撤去 3,771千円					
6 関連・類似事業や他市の状況	他市も実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	60,046	65,329	34,909	46,740	30,000
一般財源	60,046	65,329	34,909	46,740	30,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	468	471	470	470	470
事業コスト合計	60,514	65,800	35,379	47,210	30,470
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	消防庁舎仮眠室個室化			対象名称と単位	改修庁舎数 (件)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	34,922	13,955	13,774	33,790	10,000
対象数	1	1	1	1	1
単位あたり経費(円)	34,922,000	13,955,000	13,774,000	33,790,000	10,000,000
前年度比		0.40	0.99	2.45	0.30

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	工事件数(件)	指標式と指標の説明	仮眠室個室化に係る工事件数(建築・機械・電気)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	3.0	3.0	3.0		
目標	3.0	3.0	3.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	完成工事件数(件)	指標式と指標の説明	仮眠室個室化に係る完成工事件数(建築・機械・電気)		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	3.0	3.0	3.0		
目標	3.0	3.0	3.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		既存の消防庁舎を長年維持させるためには、庁舎の不備を定期的に補修する必要があるため、今後も消防庁舎の維持補修費を継続していく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
多くの消防署所で老朽化が始まっているが、既存施設の長寿命化が必要であり、維持補修費は必要である。しかし、策定中の消防力整備計画で消防署所の適正配置を考慮すれば、修繕個所の優先順位等判断が必要である			<ul style="list-style-type: none"> 策定中の消防力整備計画での消防署所の適正配置を考慮する。 修繕個所の優先順位等判断が必要である。 		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			